

【卓球】

ITTFオープンサーキット

《スロベニアオープン》

ITTFチャレンジ・スロベニアオープンが5月8日から12日までオトーチェツ(スロベニア)で開催され、女子ダブルスで長崎さんと木原さんのペアが優勝しました。長崎さんと木原さんのペアは、息の合ったプレーで、1回戦から決勝までの全ての試合で1ゲーム以上取られずの素晴らしい優勝でした。

また、U21女子シングルスでも長崎さんが優勝しました。



【写真:日本卓球協会HPより】

《クロアチアオープン》

5月14日から18日までザグレブ(クロアチア)でITTFチャレンジ・クロアチアオープンが開催されました。女子シングルスで、木原さんが優勝を果たし、長崎さんもベスト4、小塩さんも世界選手権日本代表選手などを破り、ベスト8に進出しました。

女子ダブルスでも、長崎さん木原さんのペアがスロベニアオープンに続いて優勝を果たしました。木原さんのシングルス・ダブルスの2冠は史上有最年少記録(14歳278日)です。

また、男子ダブルスで宇田君が戸上選手(野田学園高校)とペアを組んで優勝。宇田君はU21男子シングルスでも優勝を果たしました。



【↑木原さんは史上最年少記録で2冠を達成(写真:日本卓球協会HPより)】



【←U21男子シングルスで優勝した宇田君(写真:日本卓球協会HPより)】

【ボート】

全日本選手権

第97回全日本ボート選手権大会が5月23日から26日までの4日間、戸田ボートコース(埼玉県)で開催され、青木君、松田さん、上野さんの3名が出場しました。

男子シングルスカルに出場した青木君は、準決勝のD組で3位に終わり、敗退しました。

女子ダブルスカルに出場した松田さんと上野さんは、今大会がシニア選手と戦う初めての大会でした。準決勝まで進みましたが、1位と22秒という大差をつけられ、4着でゴールをし、決勝には残れず、6位という結果に終わりました。



【順位決定戦(5~8位決定戦)
右:松田さん、左:上野さん】

今大会では目標としていたクルーに力の差を見せつけられた結果となりましたが、「8月に行われる世界ジュニアに向けての1本1本の漕ぎの質を求めてトレーニングを積んでいきたい」というコーチのコメントからも伺えるように、更に高みを目指して頑張っ

【Vプログラム】

野外活動

JOCエリートアカデミーとして最も大きな年間行事である野外活動を5月11日、12日の2日間、「おにし野外活動センター」(群馬県藤岡市)で実施しました。今回は競技等の関係で参加できなかったアカデミー生を除く19名が4班(男女各2班)に分かれて様々な活動を行いました。

【1日目】

開校式、野外でのASE(Action Socialization Experience: 社会性を育成する実習体験)などのグループアクティビティを行いました。その後、恒例となっている「班対抗アウトドアクッキングコンテスト」が行なわれ、どの班も食材を有効に活用しながら、工夫したメニューを作っていました。その中で佐藤君を班長とする遠藤君、菅野君、野田君、高根澤君の1班が「牛肉ブロック(800g)」と「もち米(6合)」を使った“炊き込みご飯”や“煮込み”、そして絶妙な味のドレッシングを添えた“キャベツサラダ”で見事最優秀賞を獲得しました。それ以外の班もそれぞれに個

性を発揮し、素晴らしい夕食となりました。このコンテストは、年を重ねるごとにレベルが高くなり、味も甲乙つけがたい料理ばかりでした。



【料理コンテスト優勝チーム】



【チームビルディングでチームワーク向上】

【2日目】

御荷鉾山(みかぼやま)への登山を行いました。御荷鉾山は東御荷鉾山(1,246m)と西御荷鉾山(1,287m)の二峰からなっており、登山に慣れていないアカデミー生にとって、今回の経験は苦しいものでしたが、頂上から眺める景色と達成感はそれを払拭するものでした。

今年で9回目を迎えた野外活動は、当初は富士山麓、次に赤城山麓、そして一昨年から「おにし野外活動センター」で行っています。回を重ねるごとに、活動も充実してきており、今回も各班が、班長を中心として息の合った活動を展開しました。

野外活動は、新たに入校した12期生にとって、先輩たちの触れ合う絶好の機会です。多くのプログラムでチームビルディングと呼ばれる、グループ内のコミュニケーションを促進するようなアクティビティを行いました。アスリートビレッジで生活し、個人競技の競技者であるアカデミー生にとっては、日ごろの生活では強く求められない要素です。だからこそ、メンバーシップについて考え、工夫することの楽しさを知り、質の高いコミュニケーションの大切さを知る必要があります。今回の目標である「野外体験活動を通じて自分自身を振り返るとともに、チーム・エリートアカデミーの一員であることの意識を高める」ことが達成できました。

《遠藤君感想》

「私は今年度の野外活動で6回目の参加となりました。毎年行う内容は変わりませんが、新しいメンバーが加わったり、年々自分が上級生になり、毎年違った新鮮さを味わう事が出来ていました。今年は特に、最上学年というのが自分の中ではとても大きい変化でした。前に自分が中学生だった頃を思い出して、先輩方にしてもらった事を中学生や後輩に教えられ、料理コンテストで

は優勝することが出来ました。この野外活動での体験を大人になってからも活かせるようにしたいです。」

《大塩君感想》

「私がこの野外活動で得たことは、2つあります。まずはチームの輪が深まったことです。キャンプでは料理コンテストや登山など、競技間の垣根を越えて仲間であることを再確認することができました。次に、時間の大切さです。全体を通して約24時間の中で全てのプログラムが行われるこのキャンプでは仲間たちと計画を立て、効率よく物事を進めていく必要があります。個人競技が多い私たちにとって仲間を意識した24時間を過ごす経験はとても貴重なことであると考えます。この1日を通して、よりチームエリートアカデミーの信頼関係を築ききっかけになったのではないかと考えます。」



【集合写真】

2019年度在籍数

今年度の在籍数は、次の表のとおりです。総数は昨年度に比べ3名減って、7競技33名となりました。また、学校は北区立稲付中学校、帝京高等学校、大原学園高等学校、成立学園高等学校、東京都立足立新田高校の5校です。

競技	中学		高校			合計			前年度比	
	男子	女子	計	男子	女子	計	男子	女子		計
レスリング	4	4	4	2	3	5	6	3	9	1
卓球		2	2	2	1	3	2	3	5	-2
フェンシング				1		1	1		1	-3
水泳/飛込				1	1	2	1	1	2	0
ライフル射撃		1	1	1	2	3	1	3	4	-1
ホート				2	3	5	2	3	5	1
アーチェリー	1		1	1	5	6	2	5	7	1
合計	5	3	8	10	15	25	15	18	33	-3

公益財団法人 日本オリンピック委員会
JOCエリートアカデミー事業



〒115-0056 東京都北区西が丘3-15-1
味の素ナショナルトレーニングセンター
TEL:03(5963)0355/FAX:03(5963)0356

JOCエリートアカデミーだよりは以下のHPでもご覧いただけます。
<http://www.joc.or.jp/training/ntc/eliteacademy>